

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.12.28  
第 1130 回放送分『泌尿器科疾患』4 回目  
ゲスト：榎田英樹ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「泌尿器科疾患」をテーマにお送りしています。  
お話は、鹿児島大学病院 泌尿器科の 榎田英樹（えのきだ ひでき）ドクターです。  
榎田さん、最終週もどうぞよろしくお願ひいたします。

榎田英樹Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、過活動膀胱についてお話しいただきました。  
40 歳以上の女性に多く、およそ 1000 万人が当てはまると言われていますが、  
病院を受診している人はそのうちの 1、2 割とのことでした。  
トイレの不安から、外出を控えるようになっていたりして生活の質が下がるため、  
一人で悩まずに、まずは受診することが大切というお話でした。  
今週は何について教えていただけますか。

榎田英樹Dr.

今日は腎臓の移植についてお伝えします。  
腎臓の機能が低下すると、尿毒素を排出できなくなるため、  
とても危険な状態になります。そこで弱った腎臓の代わりとして  
透析で尿毒素を抜くことになります。

二見いすず

透析というと、週に何度も病院に行って、とても時間がかかる印象があります。

榎田英樹Dr.

そうですね。血液透析の場合、週に 3 回病院に行き、時間もかなり制約されるため、  
これまで通りの仕事や日常生活を送るのが難しくなります。  
一方、腎臓の移植を行えば、失われた腎臓の機能はほぼ完全に回復するため、  
時間に縛られることなく、これまで通りの生活が送れるようになります。

二見いすず

そうなんですね。

榎田英樹Dr.

移植の方法は 2 つあり、1 つは 6 親等以内の親族からもらう生体腎移植です。

## 二見いすず

腎臓を提供する場合、提供する人の健康には問題ないのですか？

### 榎田英樹Dr.

はい。腎臓は2つあるので、厳密な検査をして、片方を提供しても健康上問題のない方だけが提供者、つまりドナーとなれます。

## 二見いすず

分かりました。移植の方法が2つあるということでしたが、もう1つについても教えてください。

### 榎田英樹Dr.

もう1つは、お亡くなりになった方の腎臓を移植する方法です。献体の「献」に「腎」と書いて、献腎移植といいます。親族の中にドナーに適した方がいない場合は、こちらの方法になります。しかし欧米と比べて日本は献腎移植のドナーがとても少なく、年間100例余りしかありません。移植を希望しても何年も待つことになります。一方、先ほどの透析患者は30万人もいるという現実です。

## 二見いすず

ドナーの数はそんなに少ないんですね。

### 榎田英樹Dr.

献腎移植は、脳死後または心停止後の方で、生前に書面にて本人の臓器提供の意思がある場合、もしくは本人の意思が確認できない場合でもご家族の承諾がある方から臓器提供されます。

## 二見いすず

そのような意思表示の仕方を、家族が集まるこの年末年始に改めて確認し合うというのも、大切かもしれないですね。さて、ドクタートークをお聞きになってくださっているみなさん、今年も1年間ありがとうございました。来年もみなさんにとって健康でよい年になるよう、これからも役に立つ健康情報をお届けしてまいります。今月は「泌尿器科疾患」をテーマに、鹿児島大学病院 泌尿器科の榎田英樹ドクターに、貴重なお話をさせていただきました。榎田さん、ありがとうございました。

### 榎田英樹Dr.

ありがとうございました。